

## ■協議事項

関連があることから (1)、(2) を事務局で概要説明。

(1) パブリックコメントの結果について 資料1

「構想(案)」の方向性と市民の意見は合致。

(2) 上山市みらいの学校構想(答申)(案)について 資料2

パブリックコメントの意見と合致することから、日付の追記のみで修正等はなし。

## 質疑・意見交換

(1) パブリックコメントの6件という数字を事務局でどう考えているか。

(事務局) 市全体で他の計画を含め、パブリックコメントをすると、意見が出ず0件というのが多い。対して、この構想(案)については、市報等やHP掲載で周知に努め、具体的に統廃合時期や場所等が示されていない現在の段階でも意見を頂けたことは、資料をご覧いただいたということであり、大変良かったと考えている。令和8年度以降に市で検討を進める際にも、丁寧な情報提供と意見聴取に努めていきたい。

(2) 他市町村に比べ、上山市は市民からの聞き取りに丁寧に時間をかけ、ステップを踏んでいる。統合場所や時期など市で具体的な検討を行う来年度以降に、スピードアップして取り組んでいけば良い。

(3) パブリックコメントを頂いた事と内容に「安心した」、「期待します」というキーワードを見て率直に嬉しいと感じた。これだけのボリュームのある資料を見ていただいた事と、これまで検討委員会で協議して、積み上げてきた内容を理解していただいたと感じた。

(4) 上山市みらいの学校構想(案)の方向性と市民の意見は合致しているということが即ちだと思う。この構想(案)を読んで反対の考えであれば意見を出すはず。意見を出してきていない方は概ね賛成であり、6件と聞くと少ないように感じるかもしれないが、意見をくださった方は、思いがあって賛成の理由を伝えてくれたのだと思う。

(5) 意見内容について、皆さんが期待してくださっていると感じられ良かった。保護者が気になっているのは、いつ新しい学校が、どこにできるのかということ。7年後には、小中学校合わせて子ども達が1,000人を切ってしまう。小さい学校の保護者であれば余計に気になっていると思う。市にはスピード感をもって実行していただく事を期待します。

(6) 未就学児の保護者と話す機会があったが、親御さんとして知りたいところは、学校統合までの決定プロセス。具体的な道筋や見通しが立つと保護者も安心できると思います。

- (7) 単に統合すれば良い、複式学級を解消すれば良いという事ではなく、統合に至るまで、可能な限り、「現在」と「未来」の両方の子どもに対応するということを、構想（案）に盛り込んでいる。この考え方が一番大事。
- (8) パブリックコメントでいただいた前向きな意見が構想と合致しているというのは、令和6年度に協議を開始し、市民説明会やアンケート等の意見をお聞きする過程と取りまとめの協議を丁寧にやってきた賜物。本検討委員会のまとめとしてここまで良いと思う。これから具体的検討に入る際には、スピード感が重要になると感じている。
- (9) 特別支援教育の充実について、市民から意見をいただいたのは良かった。きらり学園など、一人ひとりの個性に応じた教育に上山は先行的に取り組んでいて自慢できること。構想が実現できれば、とても良い学校になると思う。
- (10) 今後は状況や立場の違いで、全員が完全に満足する結果は難しいと思うが、構想には、あらゆる内容が盛り込まれている。今後の検討に繋がる基礎資料となるということで、ありがたいと感じている。
- (11) 検討してきた内容が間違っていなかったと安心した。今の保護者・子ども達がより良い未来に繋がっていくよう市で具体的検討を勧めていただきたい。
- (12) 6件とも前向きな意見。できるならば一気に1校統合の意見が4つも出ている。これからの具体的な課程が一番大事であり、状況により色々変わってくると思うが、保護者意見をくみ取りながら進めていただきたい。
- (13) 今後の学級規模や複式学級の見込が分かったきた中で、他の学区に引っ越す世帯も出てきている。構想ができたからこそ、今後のスピード感に期待したい。

委員長「委員の皆さんの意見を承った。パブリックコメントでいただいた意見は、これまで検討してきた構想（案）に全て盛り込まれていると認識した。皆さんがよろしければ、構想の（案）の文字を削除して完成とし、市教育委員会に答申したいと思います。賛成される方は挙手をお願いします。」

**（全員挙手） 上山市みらいの学校構想構想の完成及び答申について了承**

委員長「満場一致で承認いただきました。この構想を答申したいと思います。」

(3) その他について

委員・事務局ともに議題等なし

■閉会